

# 愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市中区新栄一丁目22-18

TEL 052-262-1377

発行人 伊藤 むつお

9・10月合併号 1994年10月25日

第11回愛労連定期大会

## 〈特 集 号〉

### 憲法を生かし

### くらし優先、平和と環境守る県政を

来年度の県知事選挙への立候補を表明した、徳田秋（とくだ・おさむ）氏（六三歳、医師、北医療生協理事長）は、九月二十九日、「くらし・教育・平

和を守る清潔な革新県政をつくる会」（代表常任幹事・堀場英也氏）と「革新県政をめざす政策の基本」についての合意書」に調印しました。



会場いっぱいの参加者に応える徳田県知事候補

「革新県政の会」は、十月十八日、名古屋公会堂四階ホールで、革新県政をめざす県民のつどいを開きました。

「くらしのドクター」徳田さんで、大企業本位の県政に革新の新风を。徳田さんを迎えての初の大衆的な集会となったつどいには、お年よりから青年まで約千人が参加、会場をビッシリと埋めつくしました。

白衣の看護婦さんとも会場の大きな拍手で迎えられた徳田さんは、「いまやるべきことをやらねばと渾身の意を奮って出馬を決意した。五百二十万有権者



徳田さんの訴えに熱心に聞き入る参加者

に県政革新の熱い思いを伝え、広げようではありませんか」と訴え、夫人の朝子さんと並んで次々と手渡される花束や寄せ書きを受けました。

つどいでは、労働者、業者、障害者、女性、平和など各層代表が十二年間の愛知県政を告発しました。愛知県政は、第二東名、愛知万博、中部新国際空港などの大企業優先の大型プロジェクトが目白押し

ネコン政治に。奥田副知事が逮捕され、懲役二年六月が求刑されたことに見られるように、大企業との癒着の温床となっています。また、労働行政においても各種審議会や地方労働委員会を「連合」に独占させるなど、差別・偏向行政をおこなっています。

労働者・労働組合の要求実現にとっても重要な政治戦です。いまからのたたかいが求められています。

## 政治の本当の主人公は

## だれかがわかる選挙にしたい



1932年生まれ、名古屋大学医学部卒業。現在、県保険医協会理事・地域医療部長。県平和委員会副会長、県原水爆被災者の会顧問。

命と健康を守り育てる手だてが医療であり、くらしを豊かに明るくする手だてが政治のはずです。ところが現実には、健康保険制度の改悪、自衛隊海外派兵、小選挙区制、消費税率引き上げなど「これほど

急激な悪政推進はない」という状況になっています。「政治の本当の主人公はだれかがわかる選挙にしたい」「いまやらなかったらきつと後悔する」。革新を求め県民のみなさんとともに全力で奮闘したい。

### 人間らしく生き、働くための生活要求高く掲げて

95年度の新役員です。よろしくお願ひします

- |      |                 |       |                   |
|------|-----------------|-------|-------------------|
| 顧問   | 成瀬 昇            | 副議長   | 坂崎 進 (自治労連)       |
| 議長   | 井上 利雄 (自治労連)    | 事務局長  | 阿部 精六 (全国一般)      |
| 事務局長 | 伊藤 むつを (建設一般)   | 事務局次長 | 永井 和彦 (自治労連)      |
| 幹事   | 青山 一雄 (国公共闘)    |       | 栗生 政男 (岡崎・額田センター) |
|      | 鶴野 武 (タクシー協議会)  |       | 牛田 正美 (全印総連)      |
|      | 梅野 敏基 (自治労連)    |       | 加藤 勝 (名中センター)     |
|      | 河井 孝徳 (地域労組きずな) |       | 北畑 良介 (検教労連)      |
|      | 国村 忠文 (全国一般)    |       | 栗木 稔 (愛高教)        |
|      | 佐藤 利和 (全動労)     |       | 鈴木 正明 (愛建労)       |
|      | 高田 紀子 (婦人協議会)   |       | 谷藤 賢治 (運輸一般)      |
|      | 千葉 祐二 (東三河労連)   |       | 都築 基雄 (年金者組合)     |
|      | 寺田 英明 (青年協議会)   |       | 根村 浩二 (JMIU)      |
|      | 平田 暁 (福祉保育労)    |       | 平田 茂 (尾中労連)       |
|      | 本多 一郎 (生協労連)    |       | 的場 忠則 (建設一般)      |
| 会計監査 | 土屋 賢一 (国公共闘)    |       | 水田 清一 (瑞穂労連)      |
|      | 山田喜久雄 (銀産労)     |       | 中原東四郎             |

# 年金改悪ストップ・消費税アップNO!・ガット批准阻止

## 代議員の発言 (要旨)

**年金者組合 中川代議員**  
年金、消費税・医療などのたかひは、これらが社会保障の柱である。これを明確にする必要がある。それは、臨時国会後も、たかひを継続させる必要があるからである。

**自治労連 野村代議員**  
半田市職に対する分業策が七月十四日におこなわれた。連合・自治労は、自治労連愛知を十九年まで解体する方針をもって年間一億円の活動費を使って、彼らに、あえて職場の人間関係を無視して組織を割ってきた。二年前の役員選挙から全面対決になっている。来年の市長選挙がからんだ分裂策だ。

**港地区労 田中代議員**  
全港湾名古屋支部の選出委員長(当時)の除名問題で、七月二十八日に和解して、名古屋支部を解散させた。「連合」もついていくという攻撃だったがそれを破った。支部の大会では私たちが九九%の賛成を得、役員は全員が九割以上の信任を勝ちとった。全港湾全体をたたく立場に立たせるために引き続きがんばりたい。

**運輸一般 平沢代議員**  
九四春闘でも自動車デモをとりくみ、トラック労働者の社会的地位向上、過積み・低賃金を社会的にアビ

**愛高教 万木代議員**  
三二万の県民署名をふみにじて複合選抜を導入して五年。高校間格差が極端になっている。「不登校の生徒が一クラスに六人」「不況の中で、どこにも就職させられず、希望のところになく、あっても不採用になった」など深刻な状況。根拠は臨教審路線による管理統制。この秋、親の願いと教職員、の願いを束ね県民運動をすすめていきたい。協力共同を進展させたい。

**映産労 近藤代議員**  
尾東での「学校」、尾中では「月光」など多くの地域で階級的な活動が位置づいてきているが、私たちだけでなく支配する側もただでなく文化運動のインシアチブを誰がとるか重要。文化運動の担い手として、みなさんと一緒にたたかっていたい。

**全国一般 黒島代議員**  
破産・解雇のゴジボの労働者が圧倒的に多く、雇用保険にも入っていない。できるだけ多くの仲間の雇用を実現すること、雇用保険法の欠陥を直すことなど、職場の中と外のたたかいを前進させたい。

**愛高教 高橋代議員**  
日本の外交の目的は、日本の大企業の権益を守ることにあり、アメリカの要求にこたえることにある。憲法改悪では、アメリカは九五年を視野においており、そのた

**婦人協 長谷部代議員**  
め的小選挙区制になっている。来年八月には、愛知平和大会があるが、他団体のとりくみにも愛労連として積極的に参加。

**郵産労 原田代議員**  
ニュー夜勤廃止の十名署名にとりくんでいる。夜勤で立ちっぱなし、徹夜に近い十八時間勤務で健康破壊で全国で十名が、愛知で二名が在職死亡。全通・全勤政が当局と一体でだしてきた。過労死と不安が、かつてなく広がっている。

**運輸一般 新谷代議員**  
日本のセメント二十二社が、近い将来五つに合併しようとしている。

**青年協 高橋代議員**  
春にとりくんだスキーは東三河にも初めて実行委員会をつくった。来年は三百人規模に挑戦する。青年労働学校にもとりくみ、「働くこと・恋愛」と「活動家づくり」の二コースでのべ二百人が参加した。来年は浜松で八月に四千のサマーカーニバル。その成功にむけて各組合の協力を。

**年金者組合 一の瀬代議員**  
年金法案は、先の国会ではストを含むために成立を阻止してきた。今度こそ廃案に。春と同じような構えでたたかおう。国は財源再計算と一体で攻撃してくる。年金闘争は賃金闘争の柱だ。年金は全受給者の五五%が平均三〇〇〇〇円。これが知られれば多くの人が啞然とするだろう。

**自治労連 加藤代議員**  
敗戦五〇周年行動委員会のとりくみに期待している。本格的なとりくみに着手しよう。アピール署名はあと四五万で県民過半数。組合員一人・五名の署名を、労働組合の歴史の役割の達成へ大いに力を発揮しよう。

**運輸一般 新谷代議員**  
産別と地域が対等平等の立場で運動をすすめていくという全労連・愛労連の方針を、どうすれば実現できるのか。この状況を本気で改善していくことが大切になっている。

**全動労 木下代議員**  
中労委命令でた新しい局面で、裁判にも力を入れるが、早期解決のテーマにJTRを全面的に全力をあげる。JTR職場では、営利第一から全国で三百人の在職死亡が起きている。唯一、全労連に加盟する全動労として、共同のたたかひの決意を表明する。

**国共闘 服部代議員**  
のリストラは五七歳以上は出社に及ばず、五五歳は希望退職などになっている。中国市場をねらった寡占化、リストラに有効なたたかひが組めてはいない。

**西三南労連 桜井代議員**  
春闘は先輩たちがつくりあげてきた、日本全体の賃金を上げる重要なたたかひだ。我々も相簿づくりに参加する充足感のあるたたかひが必要。職場では要求が前進しないことへのいらだちがあるが、九四春闘では少なからず前進した。全国一般と共同、スト突入集会や団交に参加し、国公の集会にも参加してもらった。まだ幹部だけの交流だが職場からのとりくみに発展させたい。低賃金構建を打ち破るために、官民一体のたたかひを前進させる。

**運輸一般 堀川代議員**  
春闘では、官民共同のとりくみとして自治労連、愛高教、国公などの協力を得て、十一の会社で協力の要請行動をおこなった。労使ともにマンネリから抜け出し、真剣に考えざるを得ない状況も生まれた。産別・企業の枠をこえたたたかひをいっそう発展させたい。

**自治労連 伊藤代議員**  
名古屋市職労で、今年も「連合」の組織が二つつくられたが、その教訓は、圧倒的に多数を組織している中で、日常活動の弱点を正面から克服していなかったこと。スキを与えず、攻勢的に、全組合員を視野に入れて前進したい。主戦場は職場と地域であり、組合が地域で活動することが問われている。

**東三河労連 尾崎代議員**  
現にとても組織拡大は重要。多くのところで奮闘しているが愛労連全体ではマインナス。十万愛労連へ重点課題として強化すべきだ。愛知共済会を重視してほしい。助け合いへお互いの輪を広げることでメリットは大きくなる。愛労連全体の課題として共済会の加入促進をすすめてほしい。

**全国一般 石井代議員**  
春闘では、官民共同のとりくみとして自治労連、愛高教、国公などの協力を得て、十一の会社で協力の要請行動をおこなった。労使ともにマンネリから抜け出し、真剣に考えざるを得ない状況も生まれた。産別・企業の枠をこえたたたかひをいっそう発展させたい。

**運輸一般 堀川代議員**  
組織拡大の総括がないのは非常に残念。きちんと出して全体の教訓に、要求実現

**自治労連 伊藤代議員**  
名古屋市職労で、今年も「連合」の組織が二つつくられたが、その教訓は、圧倒的に多数を組織している中で、日常活動の弱点を正面から克服していなかったこと。スキを与えず、攻勢的に、全組合員を視野に入れて前進したい。主戦場は職場と地域であり、組合が地域で活動することが問われている。

**医労連 稲葉代議員**  
国立病院賃金職員、愛労連、民医連のたたかひなど大きな支援をいただいたことにお礼をいいたい。

**青年協 坂井代議員**  
青年部は人数が少なくはなっていない。年々参加者も増え、学びながら前進してきた。共同のとりくみも広がってきたが、愛労連内部のとりくみはまだこれから。予算を増やしてほしい。

**青年協 伊藤代議員**  
青年部としていろいろなりくんできた。年々参加者も増え、学びながら前進してきた。共同のとりくみも広がってきたが、愛労連内部のとりくみはまだこれから。予算を増やしてほしい。

**青年協 伊藤代議員**  
青年部としていろいろなりくんできた。年々参加者も増え、学びながら前進してきた。共同のとりくみも広がってきたが、愛労連内部のとりくみはまだこれから。予算を増やしてほしい。

**生協労連 伊藤代議員**  
ガットの農業合意の提案を政府が受け入れたが、国会での批准が必要。まだ決まっていない。食糧は自国で自給の訴えが重要だ。この合意を受け入れると日本で認められている農業や添加物が大量に入ってくる。生協労連は、理事会に對して、市民や組合員に積極的に知らせたい。積極的に知らせていくべきだと要求している。

**尾崎代議員**  
東三河で二万人の労連をつくらうと奮闘してきた。なかなか成果は上がらないが、地域に認知させるたかがいと結合、「連合」未加盟へも働きかけており、労働相談、年金、離婚相談まで寄せられている。未組織が多いことは、地域の低賃金が続くことになる。労働組合をつくりたい人、加入したい人を組織する懇談会をつくらうとしている。このなかで労働組合に対する認識を深めてもらいたい。「労働組合をつくりたい」との声や、労働条件への関心を高めていきたい。

**青年協 伊藤代議員**  
青年部としていろいろなりくんできた。年々参加者も増え、学びながら前進してきた。共同のとりくみも広がってきたが、愛労連内部のとりくみはまだこれから。予算を増やしてほしい。

**青年協 伊藤代議員**  
青年部としていろいろなりくんできた。年々参加者も増え、学びながら前進してきた。共同のとりくみも広がってきたが、愛労連内部のとりくみはまだこれから。予算を増やしてほしい。



**平和問題**  
三人が発言。敗戦・被爆五〇周年に平和のとりくみで飛躍するため行動委員会をつくりたい。「アピール」署名の過半数達成や愛知の平和集会の成功に力をつくしていきたい。

**組織化のとりくみ**  
実数が減っているとの指摘がありました。労働省の基礎調査では、私教連が大幅に減っていますが、私教連が独立したことが大きい。私教連の早期の加入に努力していきたい。一般会計が硬直しておりローカルセンターとしての財政のあり

**総括答弁**  
感をもちながら要求実現へ前進したい。春闘について、とりくみのテンポを早めるためピクトリーマップの編集も急いでいます。鉄鋼労連は春闘そのものをなく

**阿部精六事務局長**  
青年問題は重視していきたい。女性でも、要求のあり方、仲間づくりなど新しい教訓が生まれています。①リストラ問題について、大企業攻めで、一定の蓄積をしてきましたが、大きな

**紙バ 小林代議員**  
いろいろな運動が前進しているが、何が中心問題かスツクリしない。

**紙バ 小林代議員**  
いろいろな運動が前進しているが、何が中心問題かスツクリしない。

# 年金改悪法案を廃案に

## 急いですすめよう。署名・ピラ・宣伝カー



年金改悪反対の署名の訴えに、積極的に応じる人たち

### 10. 15 年金労組連絡会が金山で宣伝 署名の訴えに続々と!

年金法案をめぐる情勢はいよいよ重大な局面をむかえています。衆院厚生委員会・理事懇談会は十月十一日、日本共産党の「年金改悪反対・慎重審議」の主張をしりぞけ、十九日から厚生委員会での審議をスタートさせ、公聴会(二〇日中央、二四日仙台・京都)をおこなったうえで十月二十五日にも衆院本会議で可決、十一月初旬に参院で可決・成立という方向を強行的におしすすめてきています。

各地域労連も、九月十一日から十七日のゾーンでのターミナル宣伝や地域への全戸配布に引きつづき、全労連の年金・消費税・コメの三課題での一千万ピラも、四〇万枚を活用、地域労連の強化(各単産の地域労連への結集)とあわせ、地域への訴えを強めていきます。

④厚生委員会委員へ抗議・激励の電報を。

## エーッ、こんなにとられるの? ●あなたの負担増を計算してみよう

表③ 年金改悪案による保険料負担を試算してみると……

年 収	300万円の場合	400万円の場合	500万円の場合	あなたの場合は?
標準報酬月額	18万円	24万円	30万円	
現行の保険料(7.25%)	1万3,050円	1万7,400円	2万1,750円	
94年10月からの保険料(8.25%)	1万4,850円	1万9,800円	2万4,750円	
保険料増加額	1,800円	2,400円	3,000円	
94年10月~95年12月の保険料増加額②	2万7,000円	3万6,000円	4万5,000円	
ボーナス額(95年夏冬各2.5ヵ月分)	90万円	120万円	150万円	
ボーナスの保険料③(0.5%/95年夏冬)	4,500円	6,000円	7,500円	
保険料負担増加額合計(②+③)	3万1,500円	4万2,000円	5万2,500円	
減 税 額	1,250円	1万8,750円	4万6,500円	
消費税5%になったときの増税分	3万	4万	4万	

① 厚生年金保険料率は、16.5% (94年10月から)、ボーナス1% (95年4月から) をそれぞれ労使折半として、労働者負担分で計算。  
② 減税額と消費税5%での増税分は、「夫婦と子ども二人の標準世帯」で試算。消費税5%の増税分は、「日経」(94年9月22日)  
③ 保険料は「厚生年金保険料早見表」(94年1月1日) をもとに計算。

給与明細に記入されています。

許すな!消費税アップ、ガット協定批准、年金改悪、海外派兵。村山内閣の即時退陣!

## 11・13国民大集会

★と き 11月13日(日)  
AM 11:00 文化行事  
正午 集会・後デモ  
★と ころ 東京・代々木公園  
★参加者数 愛知から1000人以上  
★費 用 19000円(名古屋⇄東京)  
※新幹線・昼食・ゼッケン

### 愛正病院は5名の解雇を撤回せよ

多治見駅と新瀬戸駅での早朝宣伝からスタートした愛正病院(旧愛治病院)の不当解雇撤回・争議勝利をめざす一〇・四行動は、県庁医務課や瀬戸保健所など九カ所への

### 秋年末闘争勝利へ10・5総決起集会

愛労連は十月五日、中区・栄小公園で「年金制度改悪・消費税引き上げ・コメの輸入自由化反対、村山内閣の反動政治阻止、国家公務員賃金確定闘争・年末一時金闘争

勝利、雇用・くらしを守れ・諸要求実現労働者総決起集会」を開催。五百人の労働者が結集し、自



### 愛知食農健が第5回食糧ミーデー

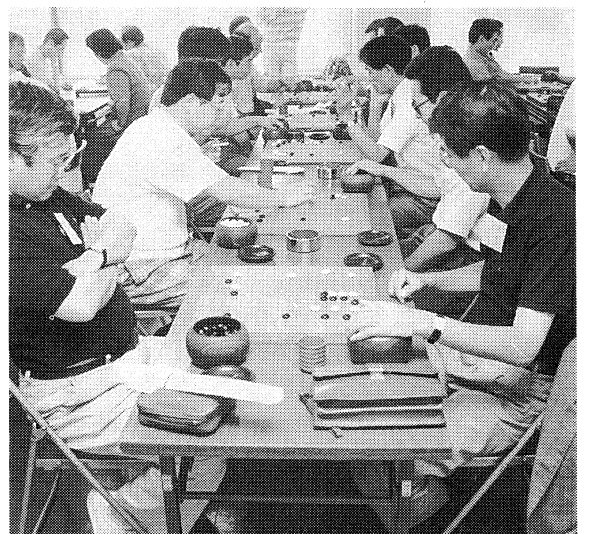
「やっぱり食べたい日本のお米、第五回愛知食糧ミーデー」が十月二日名古屋市港区の港北公園で開かれました。

「コメの自由化は、原液の除草剤を頭からかけられるようなもの。緑と生きる私たちが農民のくらしを奪わないで」と切々と訴え。この集会には、岐阜県から愛知県入りしたコメ全国キャラバンも合流、ガット批准阻止へ決意を固めました。

## 実力伯仲、白熱の好試合

### 9月15日 第4回愛知働くものの囲碁・将棋大会

## 90人の腕自慢、プロにも挑戦



真剣なまなざしで勝負に集中

「第四回愛知働くものの囲碁・将棋大会」が九月十五日、名古屋市東区の日本棋院中部総本部で開かれました。

大会には、名水労、名古屋市職労、私教連、建設一般、JMIU、医労連、全動労、名高教、愛高教、全一一般、郵産労、全港湾、国公、国労、日立金属、港医療生協、愛労連事務局などから九〇人の腕自慢が参加しました。

今回は、惜しくも初戦で敗れた人たちが二部リーグの対戦も用意、敢闘賞(二部リーグの優勝)めざして奮闘。プロ棋士の将棋・中田章道六段と囲碁・宮川史彦四段に挑戦する十面打ちにも希望者が殺到。プロ棋士が、昼食をあとまわしにするほどの盛況でした。

参加者からは、「プロにサインをお願いした。気軽に」毎回参加しているが、みんな強い。腕を磨いて来年も必ず参加する」と大会への期待いっぱいを感じが寄せられました。

- 〈囲碁A級〉
  - 優勝 吉田 鉦一(名古屋)
  - 2位 小島 勝(全)
  - 3位 大石 哲也(市職)
- 〈囲碁B級〉
  - 優勝 加藤 邦夫(本)
  - 2位 岡本 輝彦(本)
  - 3位 新藤 保(市職)
- 〈将棋A級〉
  - 優勝 鈴木 栄児(市職)
  - 2位 竹川伊知郎(市職)
  - 3位 鈴木 洋三(労)
- 〈将棋B級〉
  - 優勝 河村 幸博(市職)
  - 2位 岡田 龍司(教連)
  - 3位 沢田 宏(全)